

事例の提出について

1. 事例を使用する科目および目的

【科目】「主任介護支援専門員としての実践の振り返りと指導及び支援の実践」(2～8日目)

「指導事例検討」(9日目)

【目的】○自己の実践の振り返りを通じて、更なる資質向上を図る。

○類似した別の事例や状況に対応する力を身につける。

○地域の課題の抽出や解決に向けた取り組みにつなげる。

2. 提出する事例について **※(1)(2)の両方必須**

(1) 指定された事例

提出する事例の項目(A～G)は個人別に指定されています。(選択不可)

8月31日付メールに指定されていますので、ご確認願います。

必ず指定された項目(A～G)で事例を作成してください。

指定以外の項目で提出された場合は、指定の項目で再提出していただきます。

※A～Gの一覧は裏面別表参照

● 作成する様式

ア 様式1【表紙】提出書類一覧表

イ 様式2(1)【事例概要】

ウ 様式2(2)【事例の経過】

エ 様式3(1)(2)【事例のアセスメント情報】

オ 様式4【ジェノグラム・エコマップ】

※ 居宅サービス計画書等の提出は不要です。上記ア～オを提出してください。

※ 受講者自身が担当したケースについて記入してください。

介護支援専門員として、現在対応中で悩んでいるケース、もしくは対応は既に終了したが、当時の関わりを検証したいケースを記入してください。

(2) 他の介護支援専門員に対して行った指導事例

● 作成する様式

ア 指導事例シート①

イ 指導事例シート②

※ 指導事例の内容は、事例一覧のA～Gに限らず、自由記載とします。

【各様式のダウンロード】

上記(1)(2)の様式は、石川県ホームページからダウンロード可能です。

<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/ansin/keamane/kenshu.html>

3. 作成にあたっての注意事項

- (1) 事理様式2(1)の「この事例を選んだ理由」欄には、自身が担当した際、難しく感じた・困った・判断に困った事例や、振り返りを行いたい事例を提出してください。
※「①事例の項目が指定されたから」、「②事例項目の担当ケースが他にないから」等、上記の提出の主旨にそぐわないと判断される記入は、再提出を求めることがあります。
※②の場合でも、上記の提出の主旨に沿って記入していただければ問題ありません。
- (2) 個人情報保護のため、個人を特定できないように、十分留意してください。
○利用者は「Aさん」で統一します。
○実際の固有名詞（氏名・住所・施設名等）はアルファベットで記入してください。
（記入例：長男Bさん、C県・市、D病院、E事業所、Fセンター等）
○日付を記入する際は、元号・年・月までの記入となります。
（ただし、同月内で事例の経過等がある場合は、詳細を伏せ、経過が分かるように記入いただいてもかまいません。 記入例：平成28年6月●日、6月1●日）
- (3) 作成した事例は、研修中にグループスーパービジョンで使用しますので、手書きで記入する場合は、他の受講者が見やすいように、丁寧に、濃い字で書いてください。
- (4) 作成した事例の原本は、各自で保管してください。

4. 提出について

(1) 提出方法

片面印刷でコピーし、事例様式1～4、指導事例①②の順に並べてクリップで留めてください。（両面印刷・ホッチキス留め不可）原本は各自保管してください。
使用料（手数料）納入票（クレジットカード払いの方は不要）、研修記録シート1とともにまとめて郵送してください。（簡易書留推奨）

(2) 提出先 〒920-8580 金沢市鞍月1丁目1番地
石川県健康福祉部 長寿社会課 地域包括ケア推進グループ あて

(3) 提出期限 9月19日（火）必着【厳守】 ※金沢市内でも、到着まで2日程かかります。

(別表) 事例一覧 ※ 提出する事例の項目（A～G）は個人別に指定されています。（選択不可）

項目	科目名	キーワード例
A	リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する事例	筋力低下改善・日常運動の強化・リハビリテーション実施・住宅改修・福祉用具利用・外出支援・高齢者の外出先の開発・外出時の休息やトイレについて・機能強化ロボット使用 等
B	看取り等における看護サービスの活用に関する事例	生活機能低下における対応・看護サービス利用について・生きがいの実現のための支援・痛みの改善の取組・緩和療法・死の受容に関すること・葬儀や遺品に関する相談対応 等
C	認知症に関する事例	初期診断に関する対応・地域ネットワーク構築・認知症の理解・環境変化における対応・行動障害の取組・認知症治療に関する事・精神疾患における医学的・心理的な状況 等

D	入退院時における医療との連携に関する事例	医療チームへの伝達・介護チームへの伝達・説明責任・難病の取組・医療の活用・入院における介護負担に関する事・入退所におけるコンプライアンスに関する事・高齢者に多い入院を伴う疾患・感染症 等
E	家族への支援の視点が必要な事例	家族に疾患がある場合の対応・利用者と家族の受け止め方が違う場合の対応・家族が本人の生活機能に強く影響する場合の対応・家族間の関係性を対応した 等
F	社会資源の活用に向けた関係機関との連携に関する事例	地域支援・社会資源と特徴と対応・社会資源との連携・社会資源介入と対応・地域特性と社会資源の関係・生活保護制度・成年後見制度利用・虐待事例 等
G	状態に応じた多様なサービス（地域密着サービス、施設サービス等）の活用に関する事例	住み替えの対応・生活機能促進、利用者の主体的な選択に関する対応・説明と同意に関する事・施設サービスの対応・地域密着サービスの対応・定期巡回・随時対応型訪問介護看護・看護小規模多機能型居宅介護（複合型サービス）・小規模多機能居宅介護活用 等